

LOCK-ON

大成功、運動会！

立山町立立山北部小学校
6年 学年だより
10月号 R4. 10月

どの子供も一生懸命に競技に取り組み、応援合戦や綱引き、リレー等、とても見応えのある運動会となりました。特に、6年生は団活動に向けて、6月から準備を進め、団の中心として頑張ってきました。活動を進める上で、団の仲間と意見が合わなかったり、団員に思うように指示できなかったりとたくさん悩むことがあったようです。しかし、こうした苦難があったからこそ一人一人がやり切ったと思える運動会になったのだと思います。子供たちの振り返りには、自分の成長を感じ、うれしく思った子供が多くいました。この気持ちを忘れず、「学校のために、仲間のために、自分のために」励んでいってほしいと思います。

今年の黄団は声がよく出ているなと感じました。しかし、応援優勝をとることができず、悔しかったです。縦割り班競技では、みんなが必死に応援していていい団だなと思いました。僕は、応援団長としてしっかり声を出してみんなを引っ張ることができました。黄団、万歳！

団長として、下級生を引っ張るという目標を達成することができました。競技前の整列や応援などでは、進んで声をかけました。運動会は終わったけれど、これからも団のみんなに声をかけていこうと思います。

団のみんなと協力することを目標として運動会にのぞみました。特に縦割り種目では、下級生に声をかけたりタイミングを合わせたりする意識することができたと思います。

私は、団体競技を特にがんばりました。団体競技は、みんなでタイミングをそろえ、協力する必要があるからです。応援合戦では、前日に覚えた隠しネタもあってみんなが覚えられるか不安だったけれど、ペットボトルの音がそろっていたように思いました。今年の運動会は今までで、一番楽しむことができました。

当日の朝はとても緊張していました。それは、たいこやゴールテープや放送の仕事がうまくできるか心配だったからです。でも、たいこは練習のときよりも強く、リズムよくたたけたと思います。最後の運動会は、今まで以上に全力で取り組みました。

練習のときは、あまりやる気が出ず、なんとなく練習に参加していました。しかし、本番が近づくにつれ団長や団員のやる気が高まっているなと感じ、自分もしっかり練習に参加しようと決めました。総合優勝や応援優勝は逃したけれど、みんなが本気で取り組んだ運動会だったと思います。



室堂・弥陀ヶ原散策

9月29日（木）ガイドの佐伯さんの話を聞きながら、室堂と弥陀ヶ原の散策を行いました。立山登山のときとは違った景色を見ることができ、四季を感じました。カルデラ展望台にも行き、眼下に立山噴火口跡が陥没してできた立山カルデラが広がっている様子や、かつての立山温泉跡や湯けむりなどを見ることができました。

室堂に行くバスの中で大きな杉の木と称名滝を見ました。あの大きな幹になるまでには、何百年という時間がかかることを知りました。次に、称名滝を見ました。称名滝は4段本だったのが1段増えて5段目ができたと聞いてとてもびっくりしました。

高山植物のことなどをたくさん知ることができました。特に、みくりが池付近にあった松ぼっくりみたいな植物は、食べることができると知りおどろきました。

今日の校外学習でいろいろな事を見て触れてきました。登山のときは歩くことに必死であり自然や高山植物をあまり見れなかったけれど、今日はたくさん見たり詳しく説明を受けたりできました。夏とは違う景色は、とてもきれいでした。

室堂山荘の山小屋に入ると、昔のお金は道具などが置いてありました。お金を見たり触ったりすると、今の金とは厚さがとても違っておどろきました。カルデラ展望台の場所で見た景色は、とてもきれいでした。以前の校外学習で学んだ、砂防工事の様子も見ることができました。

弥陀ヶ原はすごく景色がきれいでいろいろな植物を観察しました。標高 2000mのところまで行ったことが初めてだったので、雲を間近で感じることができました。以前の校外学習で学んだ、立山カルデラも見下ろすとすごくきれいでした。残念ながらライチョウは見ることはできなかったけれど、標高の高低の違いを感じることができました。

